



発行  
(一社) 沖縄県PTA連合会

〒900-0002  
那覇市曙2-26-27  
TEL (098) 867-3582  
FAX (098) 867-0309

責任者 石川 謙

第2回 スマホおきなわルールづくり



平成30年2月25日に  
文部科学省委託事業  
「ネットモラルキャラ  
バン隊」の協力を得て、  
沖縄県高等学校PTA  
連合会と沖縄県PTA  
連合会、株式会社メディ  
ア開発創研の主催で開



催いたしました。携帯  
電話やスマートフォン  
等でSNS等によるト  
ラブルに子どもたちが  
巻き込まれないよう、  
家庭で独自のルール作  
りを推奨する機会とす  
る事を目的に今回はワ  
ークショップ形式を取り  
入れました。テーブル  
内に小中学生や高校生  
を混ぜ、子供たちの生  
の声を聞ける会にいた  
しました。理事や役員  
でファシリテーターの  
役を担い私たち運営側  
もスキルアップの機会  
をいただきました。あ

りがとうございました。  
我が家にもルールがあ  
ります。高校生になっ  
て携帯を持つ事が出来  
ます。親が携帯を貸し  
ている事が前提となり、  
子供たちが自らルール  
を作って使用していま  
す。しかしトラブルに  
巻き込まれる可能性は  
「0」ではありません。  
私たち親も学び未来  
の宝である子どもたち  
を守ってまいります。

沖縄県PTA連合会  
副会長 城間 一





# 平成29年度 常置委員会 活動報告



## 母親委員会 活動報告

母親委員会では第1回(7月)に、県内各地区代表の皆さんとの「はじめまして」の自己紹介から始まり、各地区での活動状況などの情報交換を行い、九州ブロック協議会での母親委員会参加としての報告(九州各地での取組み状況など)を行いました。

第2回(9月)では、沖縄

県人権擁護委員連合会様より講師をお招きして「青少年のデートDV被害」についての講話をしていただきました。ざくばらんな質疑応答でスカッションのなかで、我が子が被害者、または加害者とならないように親子の会話を密に行い、変化に気づけるよう相談できる近い相手となれるような関係作りが大事だといつこいを学びました。

第3回(2月)では、「有限会社あい保険工房」の新垣氏を講師にお招きし、「安全保障制度保険」について説明を行っていただき、また、県安全会の上原和歌子さんには安全会の説明をしていただきました。

毎回、内容盛り沢山で「時間が足りない!」と参加した皆さんからの御感想をいただきました。情報を共有し、各  
母親委員会  
委員長 下地 イツ子

## 調査研究委員会 活動報告

今年度の調査研究委員会には昨年度からの継続メンバーが一人もおらず、どのように進めればよいのかということから始めた。幸いにして、メンバーは全員意欲的な方々で、これまでなかった、実質的な「調査研究」をしようとの提案にも快く賛同してくれた。県教育委員会が小5、中2

児童・生徒とその保護者を対象に平成28年度に実施した「沖縄県児童生徒の生活実態調査」を知り、その調査結果の中核である  
①早寝・早起き  
②朝食の摂取  
③家庭でのゲームと読書の時間  
の3点について、生活習慣の基盤が低年齢児に形成されるという仮説に基づいて、小2の保護者を対象としたサン

ル調査を実施することとした。12月に質問紙、調査依頼先等の調査計画を確定させ、1月から2月にかけて、5市町村9校での調査を実施し、データの入力、3月上旬に分析結果のたたき台を作成し、3月23日に調査報告書を無事に刊行することができた。

この報告書では、小学校2年生の生活習慣について、午後10時以降に就寝している児童が20%存在することや、平  
調査研究委員会  
委員長 藤波 潔

総務委員会 活動報告

総務委員会では、「個人情報  
の取り扱い」「電話お話大会」  
「県PTA研究大会」について  
協議を行いました。「個人情報  
の取り扱い」については、近年  
非常にシビアになってきており  
多々トラブルも。県全体で対策  
を統一しておけば、対応もしや  
すいのではないかということで、県P  
ホームページに個人情報基本方  
針が掲載されていますので、見

ていただければと思います。  
「電話お話大会」については、  
開催することについて疑問の声  
がある一方、有意義な大会との  
声もある。会場の負担が大き  
くならないよう、また子どもた  
ちの活躍の場を減らすこととな  
いよう、会場校へのアンケート  
等の実施により実態を把握し、  
今後協議を行っていきたい。  
「県P研究大会」については、  
おかげさまで国頭大会は素晴ら

しい大会になりました。次回は  
県P連合会創立70周年記念大会  
となります。さらに盛り上がり  
のある、且つ多くの会員が「で  
きる」ときにできることを「楽し  
みながら、もっともっと活躍し  
てもらえるきっかけになるよう  
な大会になるよう計画していけ  
ればと思います。

総務委員会

委員長 稲嶺 一馬

健全育成委員会 活動報告

健全育成委員会では今年度も  
「夜の時までには帰りますしよ  
う運動」に取り組みました。この  
運動は県Pで3年前ほどから取  
り組まれています。これまで  
保護者や学校、関係機関など多  
方面にチラシとポスターを配布  
してきたものの、全体として飲  
食店等ではあまり掲示されてい  
ないようで、各PTAや地域で  
まだまだ浸透していません。そ  
こで平成29年度はこの運動をP  
Rするため新聞社を訪問して記

事してもらいました。また、  
あらためて各市町村単位の青少  
年健全育成組織等の活動を通し  
た取り組みを呼び掛けています。  
私の地元北谷町の取り組みを紹  
介すると、飲食店など地域の企  
業等へ協力を呼び掛け、この運  
動に賛同する企業等にポスター  
を掲示してもらうことを関係団  
体に提案しています。あわせて  
賛同企業をPTAの広報で会員  
等に広く周知することで、より  
相互理解に立った運動となり、  
地域の健全育成の取り組みとし  
て一つの良いモデルになるもの

と期待されます。

平成30年度はこれに加えて、  
登下校の見守り活動や夜間街頭  
パトロールなどを実施するつえ  
で参考となる講演会の開催とい  
った新たな活動案も出ています。  
子どもたちの安全安心な環境  
づくりのために、いまだできる  
ことを継続して、かつ創意工夫を  
しながら、皆で楽しく実践しま  
う！

健全育成委員会

委員長 米須 清一郎

家庭教育委員会 活動報告

家庭教育委員会では、今  
年度食育についての取り組  
みを行いました。家庭は社  
会の基礎的な生活単位であ  
り、子どもは家庭で、家族  
の愛情によって豊かな心を  
身につけて自立していかなく  
てはなりません。自然の中  
で食の安心安全について考  
え、ものづくり体験を通し  
て食生活の大切さを再認識  
し、家庭の実践へと結びつ  
ける事を目的として、北部  
今帰仁への食育バスツアー  
を企画、実践しました。  
バスの手配や、体験施設  
との連絡調整など、初めて  
の事で戸惑うこともありま  
したが、家庭教育委員の皆  
さんと事務局からサポート  
も頂き、各地区の理事や母  
親委員会を中心に、合計21名  
の参加のもと、無事終了す  
ることができました。

豆腐作りの体験は、水に  
付け込んだ大豆を、ミキサー  
で粉碎することから始まり、  
しぼり汁を火にかけ、にが  
りを入れて型に入れて固め  
ると、美味しい豆腐を作る  
ことが出来ました。身近な  
食材の豆腐ですが、この様  
に手間がかかるものである  
というのと同時に、栄養価  
は素晴らしいという事を学  
びました。参加の皆さんか  
らも好評で、有意義な体験  
ツアーだったと思います。

次年度は、学校給食につ  
いての研修を行い、食育へ  
の取り組みを継続していき  
たいと思います。また、  
「家庭の日」、「親子の水  
曜日」、「ファミリー読書」  
を推進し、家庭環境の充実  
を図る取り組みもすすめて  
いきたいと思えます。

家庭教育委員会

委員長 伊良波 尚美



第26回

# 我が校区の文化・歴史遺産紹介 ジョン万次郎上陸記念碑



リカの捕鯨船に救助され、望んでアメリカ本土へ渡り、日本人留学生第1号となります。

義上陸の第一歩が、我が糸満市であった事は、とても意義深いことです。

逆境でも「決して諦めない」姿勢さえあれば必ず道は開ける、というジョン万スピリッツ。この機会に多くの子ども達に彼の魂を知ってもらい、広い世界に羽ばたいて欲しいです。ジョン万次郎も、きっと温かく見守ってくれることでしょう。

自分の子が中学校を卒業して10年以上、おやじの会に留まり、子どもたちの健全育成に関わっている。

浦添市沢岬 眞榮城 悟さん

ジョン万次郎は一八五一年の旧暦1月3日、糸満市の大度海岸に上陸しました。それから167年が経った今年の2月18日、大度海岸で上陸記念碑のお披露目式が開かれました。彼の銅像は、故郷の土佐清水市を力強く指さし、台座にはその足跡をまとめた説明板が埋め込まれています。糸満市主催の式典には、県内外からの250人と、ジョン万次郎の五代目子孫の方も参列され、記念碑建立を祝福しました。

言葉の壁がありながら、非常に優秀な成績を修め、卒業後は1等航海士として捕鯨船に乗船しました。10年をアメリカで過ごし、帰国を決意すると、ゴールドラッシュの金山で資金を調達。11年ぶりに土佐に帰郷した後は、アメリカの新しい知識の伝達者となり、幕末の志士たちにも多大な影響を与えました。開成学校（後の東京大学）の英語教授に就任する等、国際人としても活躍します。上陸時の彼の荷物の中には、航海に必要な物とピストルの他に「ジョーシ・ワシントン伝記」がありました。アメリカの民主主義思想を日本へ持ち帰ろうとしていたと考えられています。民主主義

糸満市PTA連合会  
会長 金城ますみ

さて、皆さんは「ジョン万次郎」についてどれくらいご存知ですか？彼は、14歳の時に漁に出て漂流し、仲間と無人島で143日過ごしました。その後、アメ

リカの捕鯨船に救助され、望んでアメリカ本土へ渡り、日本人留学生第1号となります。

義上陸の第一歩が、我が糸満市であった事は、とても意義深いことです。

逆境でも「決して諦めない」姿勢さえあれば必ず道は開ける、というジョン万スピリッツ。この機会に多くの子ども達に彼の魂を知ってもらい、広い世界に羽ばたいて欲しいです。ジョン万次郎も、きっと温かく見守ってくれることでしょう。

自分の子が中学校を卒業して10年以上、おやじの会に留まり、子どもたちの健全育成に関わっている。

浦添市沢岬 眞榮城 悟さん



第24回

## 裏方一番



# 頼りになるオヤジ

浦添市沢岬 眞榮城 悟さん



自分の子が中学校を卒業して10年以上、おやじの会に留まり、子どもたちの健全育成に関わっている。先生からの信頼も厚く、数年前、学校が荒れているときから、先生から依頼を受ける存在になっている。

## PTA会長さんへ 安全委員会より

平成30年度の『安全会共済加入の手続き』について

※ご案内・申請書類・平成30年度版「安全会制度のしおり」は3月上旬に送付済み

- 共済契約申込書（様式1）
    - ・3月31日までに必着
    - （5月31日現在、15校が未加入となっています。早めの申込みをお願いします。）
  - 共済金の納入
  - 名簿等必要書類の提出
- } 4月～6月30日 厳守

※上記について提出期限が過ぎた場合、4月1日から共済掛金が払い込まれた日までの間に発生した事故に対する共済金はお支払い出来ません。

（共済規定一事業方法書第7条）

一般社団法人  
沖縄県PTA連合会 安全委員会  
900-0002 那覇市曙2-26-27  
TEL : 098-867-8645



# 木もれ陽

## 「汗水節」の心を受け継ぎ 地域と保護者に支えられた新城小学校

本校は、昭和24年に新城初等学校として、具志頭初等学校より分離独立して創設され、平成18年1月1日、旧東風平町と旧具志頭村が合併し「八重瀬町」が誕生したことにより、八重瀬町立新城小学校と改名し平成29年度、創立68周年を迎えた歴史と伝統ある学校です。

学校周辺を見渡してみますと、八重瀬町の特産であるピーマンのビニールハウスやサトウキビ畑が広がり、長閑な田園風景が広がる場所にあり、保護者や地域の方（老人会・婦人会・青年会等々）も大変学校に対して協力的で、学校の教育活動に積極的に関わって下さっています。毎年行われる運動会には、青年会のエイサーや老人会の踊りが種目として加わり、演技に花を添えるなど、家庭・地域と学校が一体となっ

て子どもたちを育て育むという昔ながらの沖縄の良さが残っています。

学校の全児童数は百八〇名という小規模校のため当然PTAの会員数も少ないのですが、その分結束力があり、様々な行事を少ない人数でお互いカバーしながら手分けして進めていくその姿には校長として大変頭が下がります。また、今年度は特にPTA会長の崎原さんを中心にとどの家庭でも必ず出来るスローガンとして「頑張りノートなどに必ずサインし、子どもを励ますPTA」と決めて頂き、各家庭で実践して頂いています。

そのような保護者・地域の素晴らしい活動や学校への協力の様子を目の当たりにし、目で学び・心で学ぶことが出来ている児童は、大変素直で明るく、頼まれた事は最後まできちんやり通すことが出来るだけでなく、さらに主体的に行動したり、自分の考えをしっかりと持って行動することが出来る子に育っています。

よく「学校・保護者・地域で子ども達を共に育てる」という言葉を耳にしますが、まさに本校はそれが出来ている学校だと自負しています。

今後とも学校を含めた地域全体が本町偉人のお一人、汗水節の作詞者「仲本稔先生」の意思を受け継ぎ、「よく働き」「よく学び」「自分のため、みんなのために頑張る」新城っ子の育成のため、学校全職員・地域の皆様、そしてPTAの皆様と更に連携・協力し、次世代を担う子ども達を育てたいと思います。

八重瀬町立新城小学校  
前校長 棚田 彰夫

# 我が家の子育て

宮古地区PTA連合会会長を務めております源河雅人と申します。

我が家の家族構成は娘一人、息子三人の五名家族になります。

今年、長女が地元の高校へ進学が決まりました。これで高校生（長女）、中学生（長男）、小学生（次男・三男）に在学するといった状態になりました。これから何が始まるのか楽しみです。

私たちの家族は、夫婦共働きですので身の回りの事を自分でやるしかない状態が常にあります。お母さんが仕事から帰った際、ひとつでもお手伝いしていたらお母さんとっても喜ぶと思うけどね(笑)と、子供たちに話すと自然とお手伝いを自ら進んでやっていけることが出来てきました。

挨拶については、挨拶して貰えると気持ちいいよね。気持ちが良いとなんか楽しくなってくるよね。ヨシ！続けましょう。楽しい気持ちを周りのみんなにもやってあげようね。そう言い続けていくと仕事で遅く帰って来たお父さんに対して「お父さんお帰り！！」と元気に挨拶して貰えると仕事の疲れも癒されます。

子どもたちには常にこうやって励ましています。

「お前たちは超天才だ。やらないから解らないのであって、やれば何でもできる」

勉強もスポーツも遊びも人に迷惑をかけないような子供たちになってほしいと。

東京オリンピックが楽しみだな(笑)



宮古地区PTA連合会

会長 源河 雅人





### 食育バスツアーへ参加して

去る2月10日(土)に開催された家庭教育委員会主催の「食育バスツアー」に参加しました。北部にある「あいあいファーム」で島豆腐づくりの体験です。当日は県PTA会館に集合し、バスで出発。途中沖縄市で中頭地区の皆さんが搭乗し、現地で国頭地区の皆さんと合流しました。「食育」を学ぶ目的のツアーなので、バスの中で沖縄県の島豆腐の消費量、栄養価、本土とは違う製造方法のレクチャーがありました。沖縄の島豆腐は本土の豆腐より手間がかかる作り方をしているので、栄養価も高いそうです。

「あいあいファーム」は閉校した小学校の施設を改装して作られており、自然食のレストラン、食の体験施設、宿泊施設、研修施設が充実しているので、単



P、子供会等での活用も多いそうです。さて、現地に着くとまず施設の敷地で作られた野菜の食材がふんだんに使われた昼食を頂きました。その後、島豆腐作りを体験しましたが、事前に作り方のレクチャーがあったので、「なるほど、こっつっているんだ」と理解出来ました。また、実際に体験する事で生産者の方々に改めて感謝の気持ちが生ええました。最後に、今回の食育バスツアーはとて



母親委員会  
副委員長 石丸 乃り子

### 沖縄県PTA連合会セミナー

3月11日(日)に沖縄県PTA連合会主催で行われた「特別企画「考える力」を育てる「思考力と行動力」による子供育成+自己活用のためのセミナー」に参加しました。当初、1日だけの開催予定であったこちらのセミナーは、参加希望者が多数の為、3月4日、11日と2日に分けての開催となりました。

講師であるキャリア形成支援協議会代表理事の酒元譲二先生は、話の中に「智識ではなく意識から「思考力と行動力」を育てる・C・S行動学」の概要を説明されていて、「良いとわかってはいる行動を起こせないのは不安だから」「不安というブレーキは行動でしか解除



されない。まずは挨拶から始めてみよう」などと、具体的な例を挙げながら講演が行われました。

2020年文科省の大学入試改革については、「思考力・行動力生きる力の大切さに気付く大きなきっかけになる」と話されていました。

今回は、実際

長嶺中学校PTA

副会長 釘本 潮路

### 編集後記

今号は県PTA役員活動を臨場感をもって載せることができました。編集をする広報委員が4名いますが、それぞれ個性を出してレイアウトを行うので、とても勉強になりました。年度が変わり、新しいメンバーが加わると思います。とても楽しみです。新たなケミストリー(化学反応)が広報委員会を発展させることでしょう。(末吉建作)

広報委員：末吉建作(那覇) 新垣早苗(中頭) 奥間由紀江(中頭) 外間隆史(島尻)

通信委員：仲間里枝(国頭) 伊波孝子(宮古) 鬚川美穂(八重山)